

# 高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術 科目：音楽 I 単位数：2 単位  
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組  
 使用教科書：（MOUSA 1 教育芸術社）

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
  - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

| 【知識及び技能】   | 【思考力、判断力、表現力等】   | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|--|--|---|
| 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 | 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 | 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 |

|             | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容   | 表現 |   |   | 鑑賞 | 評価規準  | 知  | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |   |
|-------------|---|---|----|---|---|----|---|--|---|---|------------------|---|
|             |   |   | 歌  | 器 | 創 |    |   |  |   |   |                  |   |
| 1<br>学<br>期 | 斉唱・合唱<br>【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付ける。<br>【思考力、判断力、表現力等】 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりを理解する。表現を工夫する。<br>【学びに向かう力、人間性等】 自己のイメージをもって、創意工夫して歌う。   | オリエンテーション<br>科目の説明<br>・教材 ・学習方法<br><br>・発声 曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方 表現に必要な技能の習得。<br>・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり。・聴き合い<br><br>教材 校歌 翼をください | ○  |   | ○ |    | 【知識及び技能】<br>・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。<br>・創意工夫を生かした歌唱表現のため、発声言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。<br>実技試験 筆記試験 ワークシート記述 | ○  | ○ | ○ | 18               |   |
|             | ボディーパーカッション・楽典<br>【知識及び技能】 曲想と音色やリズムとの関わりについて正確に楽譜を読み取る。<br>【思考力、判断力、表現力等】 音色、リズム、テクスチャを知覚し、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。<br>【学びに向かう力、人間性等】 音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 | ・譜読み<br>・楽典の基礎的事項の復習<br>・個人練習（全パート）<br>・全体練習（全パート）<br>・パートに分かれてのアンサンブル<br><br>教材<br><br>クラッピング カルテットNo.1                      |    |   | ○ | ○  |   | 【知識及び技能】<br>・曲想と手拍子や足踏みの音色や奏法との関わりについて理解している。楽譜を正確に読み取り、リズムを理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・音色、リズム、速度、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>音色の工夫やリズムパターンの変化と曲想との関わりに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。<br>実技試験 筆記試験 ワークシート記述                   | ○ | ○ | ○                | 8 |
|             | 西洋音楽史をたどる<br>【知識及び技能】 様々な時代の音楽や作曲家の特徴と、その文化的・歴史的背景との関連を知る。<br>【思考力、判断力、表現力等】 音楽表現の共通性や固有性について考える。音楽のよさや美しさを自ら味わって聴く。<br>【学びに向かう力、人間性等】 様々な時代の文化的・歴史的背景との関連に関心をもち、鑑賞に主体的に取り組む。<br>混声四部合唱曲に親しむ    | ・西洋音楽の流れ<br>中世の音楽<br>教会音楽 グレゴリオ聖歌<br>多声音楽<br>・西洋音楽史<br><br>作曲家年表と主な作品<br><br>・教材<br>教科書                                       |    |   |   | ○  |   | 【知識及び技能】<br>西洋音楽の流れを文化的・歴史的背景との関連を知りつつ学ぶ。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。<br>【学びに向かう力、人間性等】<br>文化的・歴史的な背景を踏まえて音楽の多様性を理解し、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。<br>ワークシート記述 | ○ | ○ | ○                | 4 |

